

ひのようすい

日野用水とオオシロカゲロウ

日野用水は一年を通して水量が一定に流れており、水の中に棲む生き物たちにとってとても優しい生息空間となっています。用水の多くは川底や側面がコンクリートで固められた俗にいう3面張りが多いのですが、日野用水の場合は川底が自然のままの砂利や泥の場所も多く水草の生えている場所も多い。

日野用水で特に注目されるべき生き物は、カゲロウの仲間のオオシロカゲロウと思われる。このカゲロウは、砂泥質の川底にトンネルを掘り生息している。このカゲロウ、全国的には大きな川でときおり数百万の規模で大発生しニュースになることも多いが、日野用水は用水幅が2メートルと狭いため、最大羽化日でも100メートルあたり数万匹であるが最も羽化の多い日の川面では、その荘厳かつ驚くほどの数の群飛をみることができる。

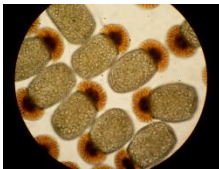
オオシロカゲロウの一生

卵

幼虫 オスメス

成虫 オス

メス



卵； 8月末から9月初めごろ産み落とされた卵は流されながら川底の小石などに着床固着、翌年の3月頃孵化

幼虫；3月から8月末（9月）までが幼虫期間で、川底にトンネルを掘りその中でくらす。

成虫；8月から9月のX日の夜中に羽化、交尾、産卵後に死ぬ。オス、メスともに成虫期間が2～3時間と、カゲロウの仲間ではもっとも短い。

ぐんぴ
群飛



2009.9.2



2010.9.11

羽化の最盛日は毎年異なっています。今年は何日になるのでしょうか？